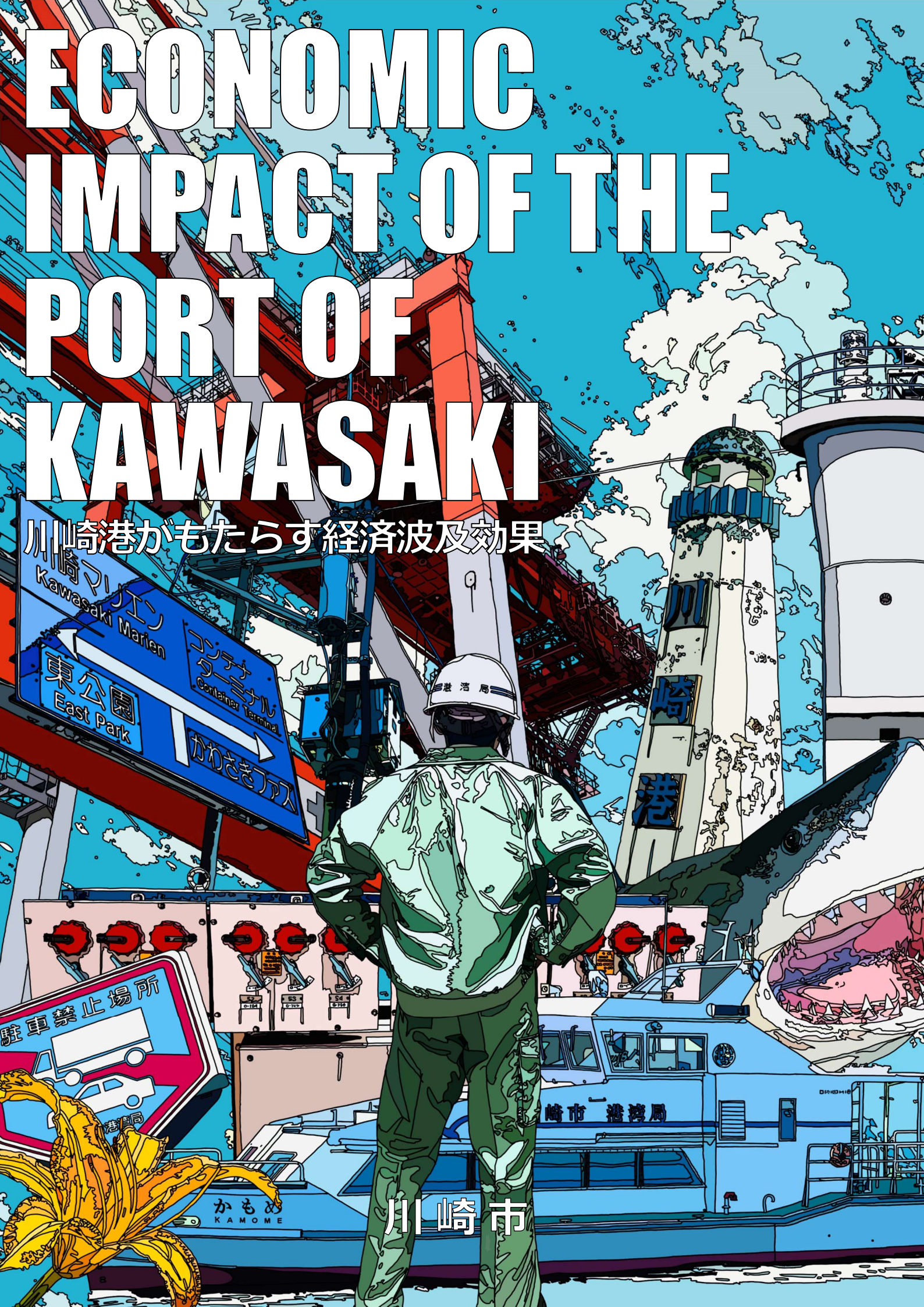


ECONOMIC IMPACT OF THE PORT OF KAWASAKI

川崎港がもたらす経済波及効果



川崎市

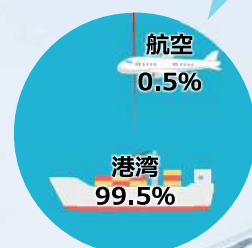
港の役割と川崎港について01



港の役割

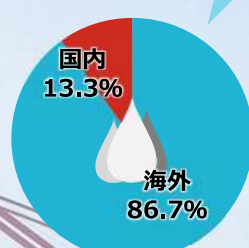
日本は四方を海に囲まれた島国であることから、海外との交易を行う港は、我が国において経済活動や国民の生活を支える中心的な施設として、非常に重要な役割を担っています。

輸出入貨物の
99.5%は港から



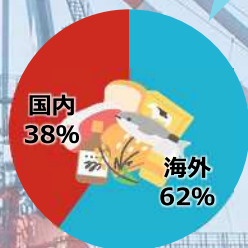
出典：数字でみる港湾2023
(割合：トン数ベース/対象年：令和3年)

エネルギーの
約9割は海外から



出典：日本のエネルギー2023年度版
(対象年：令和3年度 確報値)

食料の
6割以上は海外から



出典：農林水産省HP「日本の食料自給率」
(割合：カロリーベース/対象年：令和4年度)



川崎港の位置

川崎港は東京湾北西部にあり、西側を横浜港、東側を東京港に接し、首都圏の拠点都市である川崎市を背後に擁しています。高速横羽線や東京湾アクアラインなどの高速道路網及び主要幹線道路により、東京、横浜はもとより千葉房総や北関東、山梨方面へのアクセスに大変便利な場所に立地しています。



港の役割と川崎港について01

川崎港がもたらす経済波及効果とは02

川崎港における活動03

川崎港がもたらす経済波及効果04

川崎港の発展に向けた取組05



川崎港の特徴

日本で約1,000ある港のうち国際競争力の強化に重要で最もランクが高い **国際戦略港湾**

国際戦略港湾 とは

- ・長距離の国際海上コンテナ輸送の拠点となる港
- ・国内外の海上貨物輸送網を結節する機能が高い港
- ・国際競争力の強化を重点的に図ることが必要な港

東京港、川崎港、横浜港
神戸港、大阪港

国際戦略港湾 5港

国際拠点港湾 18港

重要港湾 102港

地方港湾等 842港

石油・化学関連産業が集積！

ガソリンなどの燃料となる
原油の輸入量は **全国5位**

912万トン

出典：国土交通省港湾統計年報（令和4年）

エネルギー産業が集積！

火力発電の燃料となる
LNGの輸入量は **全国4位**

1,413万トン

出典：国土交通省港湾統計年報（令和4年）

自動車の輸送拠点！

新車や中古車などの
自動車の輸出台数は **全国8位**

234,352台

出典：数字で見る港湾2023（令和4年）

リサイクル産業が集積！

鉄のリサイクルに使用する
鉄くずの輸出力は **全国1位**

89万トン

出典：国土交通省港湾統計年報（令和4年）

暮らしを支えている！

戸棚や調理器具などの
家具の輸入量は **全国7位**

55万トン

出典：国土交通省港湾統計年報（令和4年）

ヘアブラシやハンガーなどの
日用品の輸入量は **全国5位**

30万トン

川崎港がもたらす経済波及効果とは

取り扱う貨物がもたらす効果

川崎港における活動は、モノの流れを支えるだけでなく、多くの産業や市民生活に深く関わり、港に直接関係をもたない産業なども含め、幅広く地域経済を潤しています。

港の背後での生産活動は、関連する他産業の事業活動を促しており、働いた人が買い物や飲食・レジャーで消費することにより、まちに活気が生まれています。

これらの効果を定量的に把握するため、産業連関表、川崎市港湾統計、各種統計資料や企業へのヒアリングなどを用いて、令和4年の1年間で川崎港で取り扱った貨物がもたらす経済波及効果を推計しました。また、川崎港に関わる経済活動によって誘発される雇用創出効果や税収効果についても推計しました。

川崎港における活動

P.5～6で紹介

民間ふ頭における活動

企業が専用に利用する貨物の積み下ろし場所

LNGや原油などを中心とした
原材料等の輸入 など

公共ふ頭における活動

誰でも自由に利用できる貨物の積み下ろし場所

自動車の輸出・移出入や、鉄くずの輸出、
家具や日用品、製造食品等のコンテナ貨物の輸入 など

直接効果

港に直接関係をもつ産業※による生産活動により生み出される付加価値

※ 出荷・取引・生産活動を行う過程で港湾からの搬出入を伴う産業



製造業 商業 など

間接効果

一次波及効果

港に直接関係をもたない産業への生産誘発



運送業 不動産業 など

二次波及効果

一次波及効果に伴う雇用者の消費により生み出される付加価値



買い物 レジャー など

川崎港がもたらす経済波及効果

約6.8兆円

P.7～8で紹介

公共ふ頭やコンテナターミナルで取り扱った貨物がもたらす経済波及効果も推計したよ



公共ふ頭がもたらす経済波及効果

約1.5兆円

P.9～10で紹介

コンテナターミナルがもたらす経済波及効果

約3,409億円

P.11～12で紹介

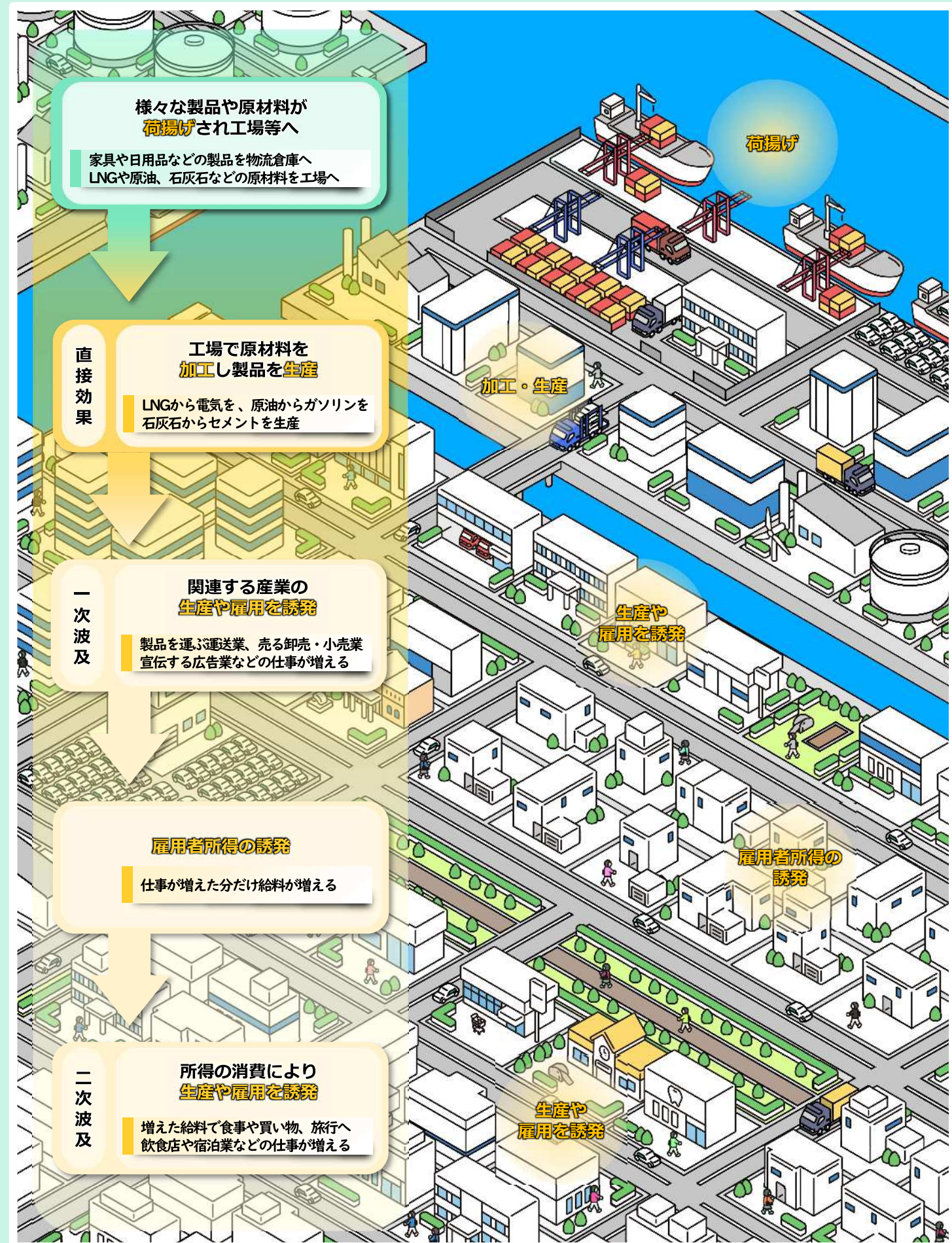
港の役割と
川崎港について

川崎港がもたらす
経済波及効果とは

川崎港における活動

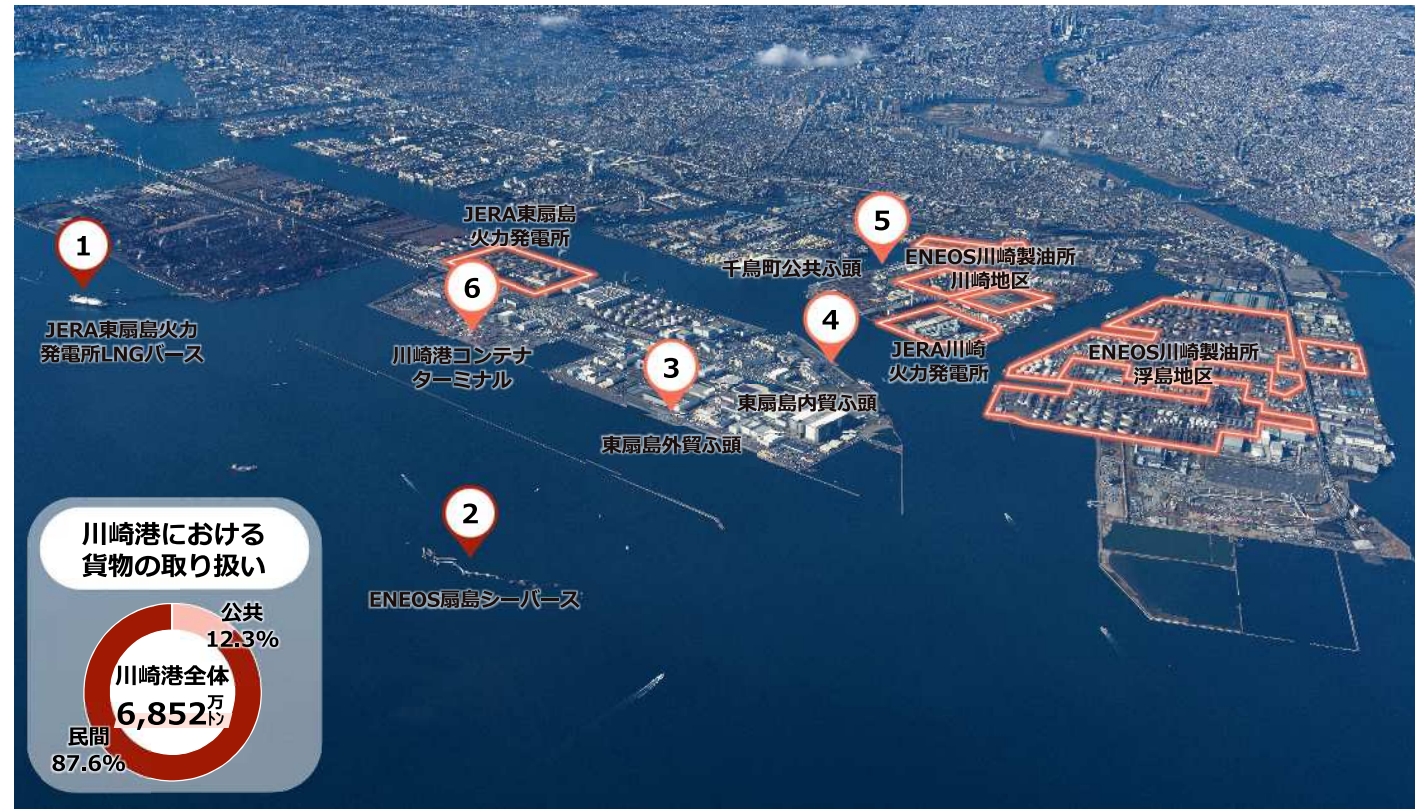
川崎港がもたらす
経済波及効果

川崎港の発展に
向けた取組



船が着き貨物を積み下ろしするための場所をふ頭といい、川崎港には、企業が自社貨物を専用的に利用する民間ふ頭と利用者が自由に使用可能な公共ふ頭があります。なお、川崎港における貨物の取り扱いは約9割が民間ふ頭によるものとなっています。

ここでは、民間ふ頭における活動の一部と、公共ふ頭における活動を紹介します。

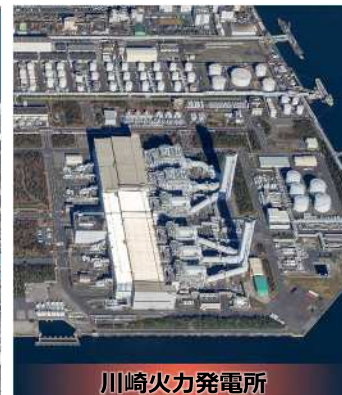


民間ふ頭における活動

1 JERA東扇島火力発電所LNGバース

国内最大の発電会社である株式会社JERAが、発電の燃料として使用しているLNGを専用的に取り扱う施設です。JERA向けのLNGは主に東南アジアやオセアニア、北米、中東などから輸入しており、1バースあたりのLNG船の入港数・受入量は日本最大級となっています。輸入したLNGは、東扇島火力発電所のLNG基地で気化され、天然ガスとなって川崎火力発電所などに供給されています。

バース... 船が貨物の積み下ろしのために接岸する岸のこと



2 ENEOS扇島シーバース

ENEOS株式会社が、原材料となる原油を専用的に取り扱う施設です。30万トン級の原油タンカーが着岸可能で、世界各国から輸入された原油等は、国内最大級の石油精製能力を持つ川崎製油所で暮らしに欠かすことの出来ないガソリン・軽油などの石油製品となり様々な場所へ運搬されています。

シーバース... 海上における船の停泊場所で海底の配管を経由して貨物の積み下ろしをする施設



公共ふ頭における活動

3 4 東扇島外内貿ふ頭



外貿ふ頭、内貿ふ頭共に自動車を中心に取り扱っています。外貿ふ頭では、アメリカやジャマイカ、カナダなどに輸出しており、内貿ふ頭では愛知県や北海道などと移出入しています。

外貿ふ頭... 日本国内と国外との間の海上輸送（輸出入）を行うためのふ頭

内貿ふ頭... 日本国内間の海上輸送（移出入）を行うためのふ頭

5 千鳥町公共ふ頭



戦後、川崎市にはじめて誕生した公共ふ頭であり、高度経済成長を支える重要な役割を果たしてきました。現在では、砂利・砂、石灰石、鉄くず、飼肥料など多種多様のバラ貨物を取り扱っています。

バラ貨物... 包装・梱包をせずそのまま船積みして輸送する貨物の総称

6 川崎港コンテナターミナル



中国やベトナムなどから輸入している家具や日用品、衣類、製造食品などが入ったコンテナ貨物を取り扱っています。背後には多くの物流施設が立地しており、スムーズで効率的な物流を実現しています。

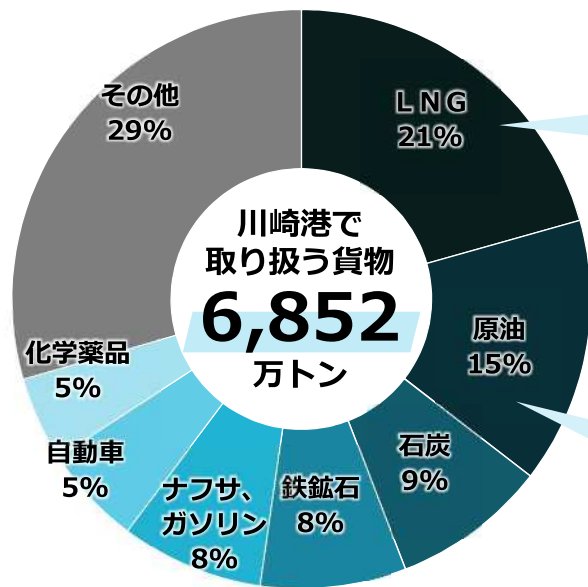
コンテナ... 貨物を効率的に輸送するための規格・寸法が定められた箱

川崎港がもたらす経済波及効果

取り扱う貨物がもたらす効果

川崎港には、発電施設や、日本有数の石油化学コンビナートを形成する石油・化学関連産業が集積しており、専用ふ頭ではLNGや原油をはじめとした原材料が多く取り扱われています。

LNGや原油は、私たちの日常生活に欠かせない電気やガソリン等となり、首都圏の産業やみなさんの生活を支えています。



LNG（液化天然ガス）

気化することにより天然ガスとなり、火力発電の燃料となります。発電されて生まれた電気がみなさんのもとに届けられています。

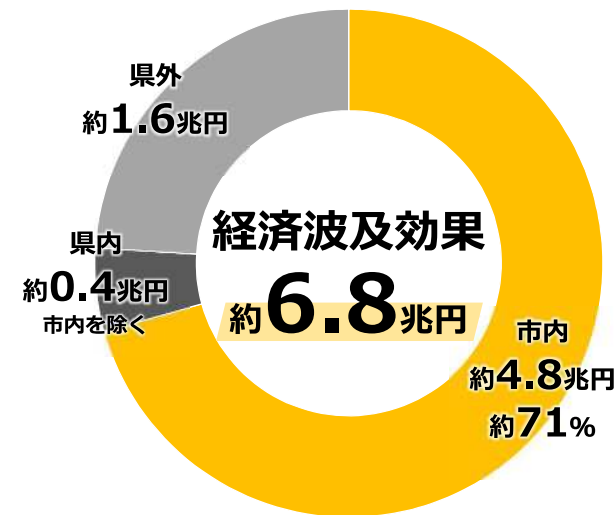
原油

精製することでガソリンや灯油、軽油等となり、みなさんのもとに届けられています。



経済波及効果

川崎港があることによって生まれる付加価値付加価値とは、いわゆる給料や儲けのこと！



川崎港がもたらす川崎市への経済波及効果

約4.8兆円

市内総生産額の約78%に相当

市内総生産額は約6.2兆円（令和3年度）

1万円札を積み重ねると富士山約13個分の高さになるよ



POINT

LNGや原油などの原材料は、川崎港内に立地する企業での生産活動のために消費されているため、市内へもたらす経済波及効果の割合が高くなっています。

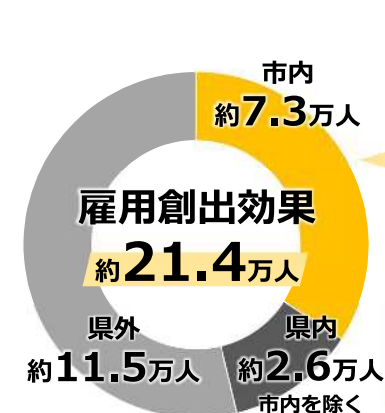
POINT

川崎市への経済波及効果を産業分野ごとにみると、原油を原材料とする石油・石炭製品※やLNGを燃料とする電力・ガス・熱供給※が高い割合を占めています。

※石油・石炭製品：石油精製業などの活動範囲
※電気・ガス・熱供給：電気業などの活動範囲

雇用創出効果

川崎港があることによって生まれる仕事に必要な働き手



川崎港がもたらす川崎市への雇用創出効果

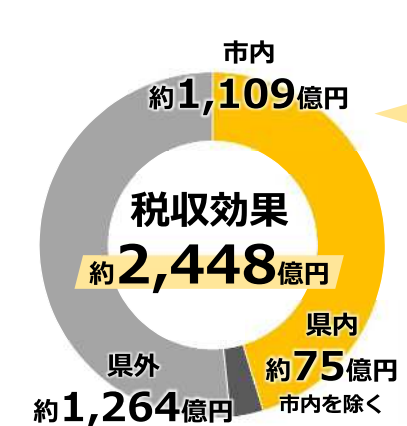
約7.3万人

川崎市従業者数の約13%に相当

※川崎市従業者数は約55万人（令和3年）

税収効果

川崎港があることによって生まれる市民生活を支える税収



川崎港がもたらす川崎市への税収効果

約1,109億円

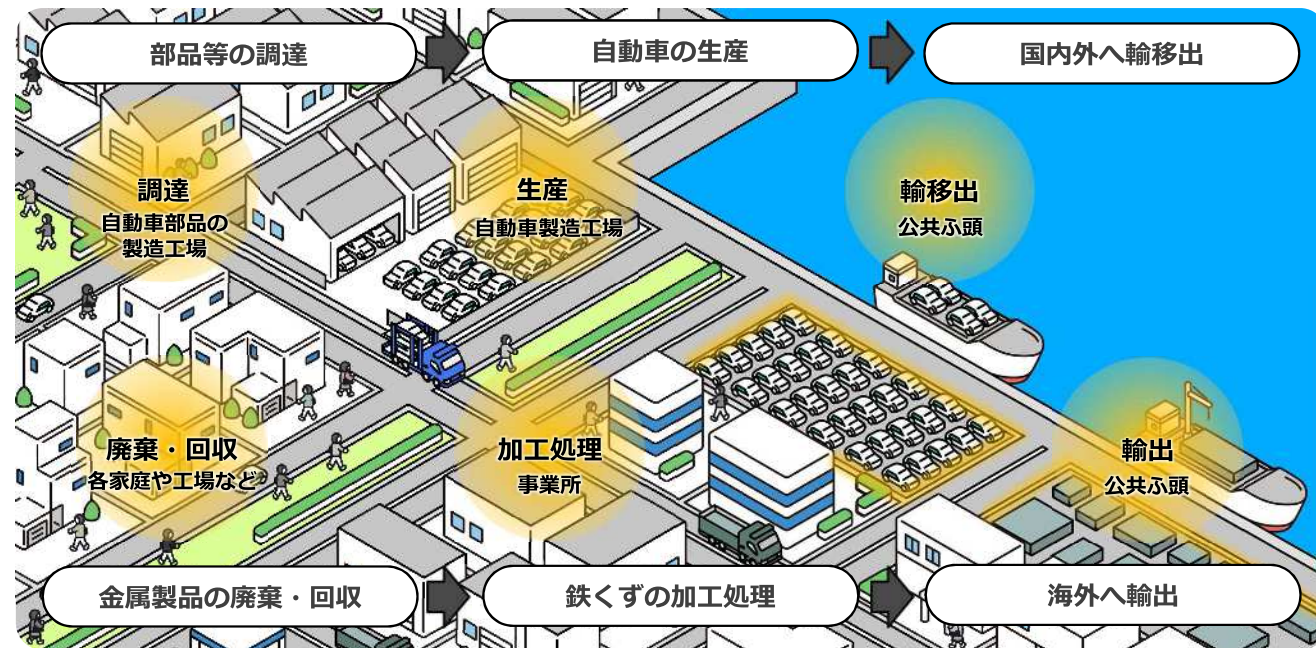
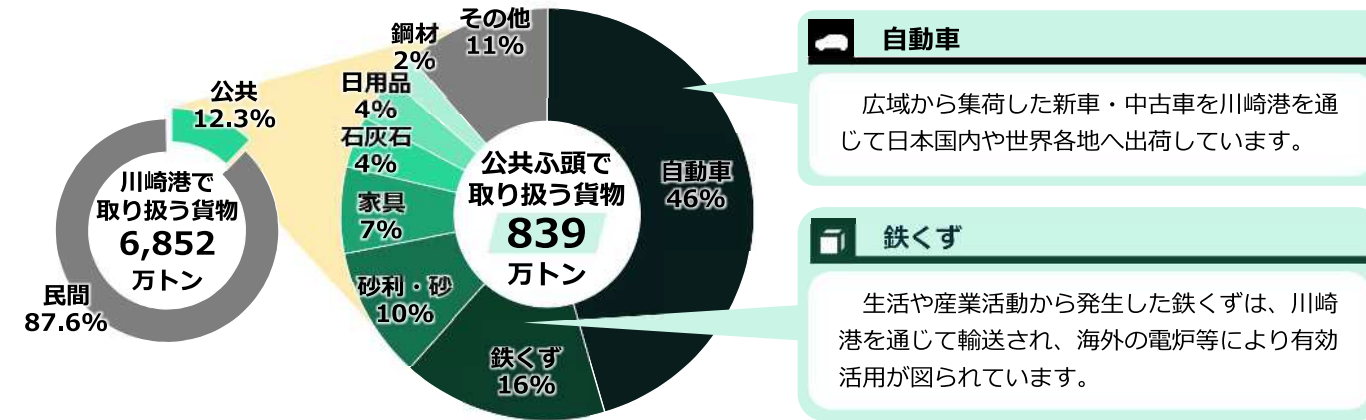
川崎市税収の約30%に相当

※川崎市税は約3758億円（令和4年度）

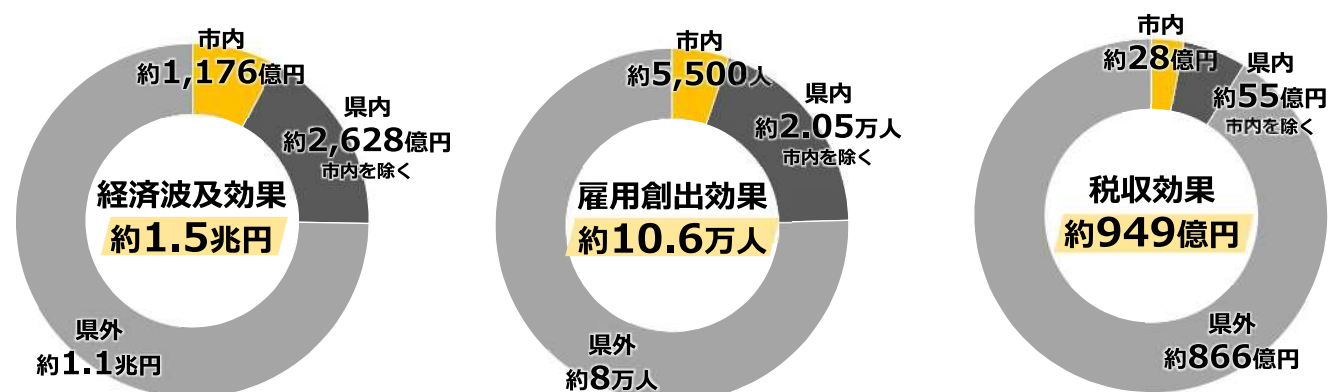
公共ふ頭で取り扱う貨物がもたらす効果

川崎港は、自動車の国内輸送拠点であるとともに東日本における輸出拠点となっています。また、リサイクル関連産業が集積する国内有数のリサイクル拠点にもなっています。

そのため、東扇島や千鳥町の公共ふ頭では、自動車や鉄くずを多く取り扱っており、自動車メーカーの生産活動を支えるとともに市民生活から生じる資源の循環を支えています。



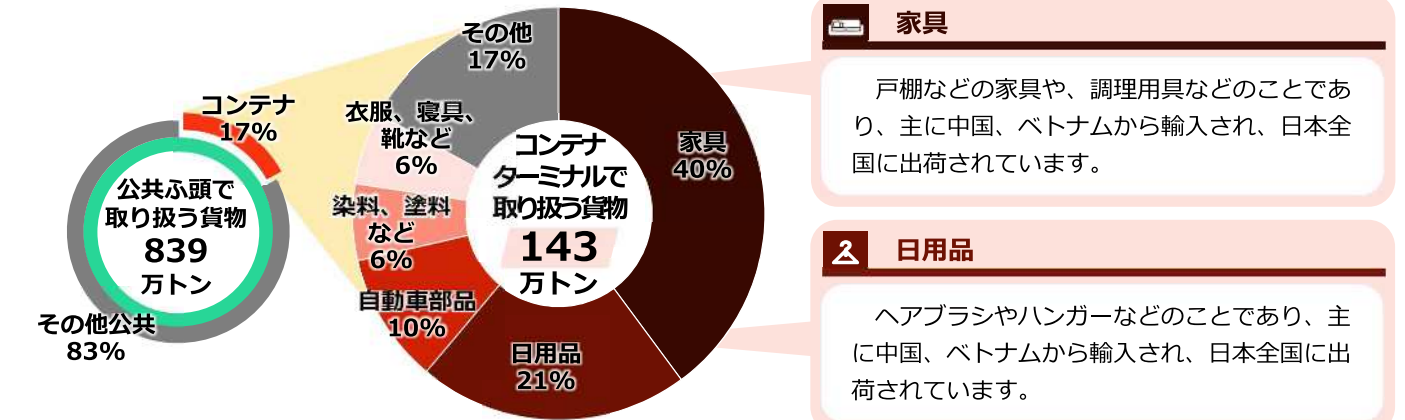
公共ふ頭がもたらす経済波及効果



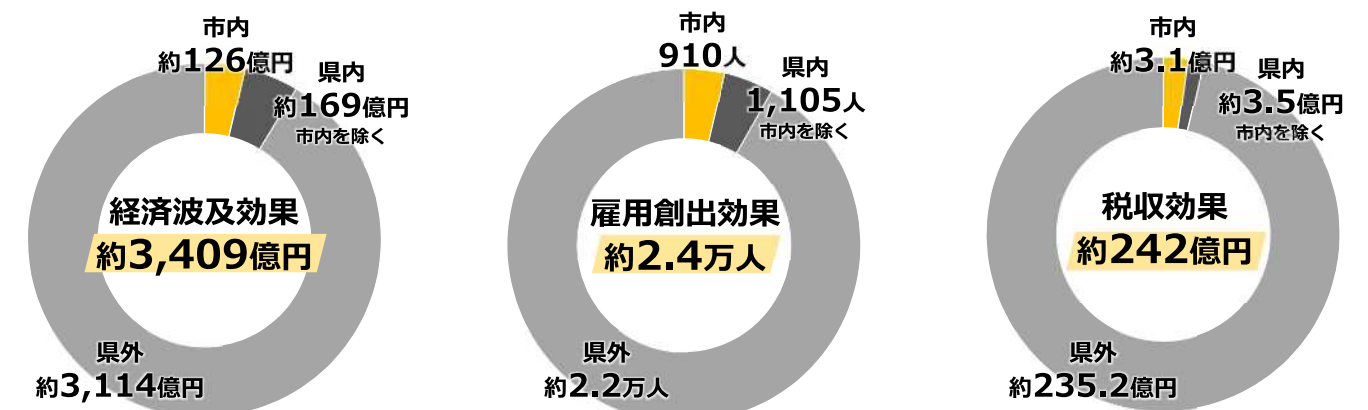
コンテナターミナルで取り扱う貨物がもたらす効果

川崎港コンテナターミナルでは、コンテナ貨物を取り扱う公共岸壁が整備されており、アジア各地との定期コンテナ直行航路が就航しているとともに、京浜港内の東京港・横浜港を経由し、世界各地との貨物輸送が行われています。

私たちの生活に必要な家具や日用品を多く取り扱っており、地域経済・産業の発展や市民生活に貢献しています。



コンテナターミナルがもたらす経済波及効果



川崎港の発展に向けた取組05

川崎市では、川崎港の更なる発展に向けた取組みを進めています。
これらの取組みは、川崎港における活動の活発化させ、より一層の経済波及効果もたらし、市民サービスの向上に寄与することが期待できます。



1 扇島地区の大規模土地利用転換

JFEスチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の高炉等休止により、扇島地区など川崎臨海部に新たに生まれる約400ヘクタールの広大な土地について、100年に1度のビッグプロジェクトとなる大規模土地利用転換の取組を進めています。扇島地区の先導的に土地利用転換を進めるエリアには、CO₂フリー水素やアンモニア、完成自動車等の貨物を取り扱うための公共ふ頭が計画されています。



扇島地区の土地利用イメージ

2 臨港道路東扇島水江町線整備事業

臨海部ネットワークの充実による物流機能の強化及び緊急物資輸送道路の確保等による防災機能の強化を目的として、国の直轄事業により整備が進められています。臨海部の交通混雑の緩和により企業の雇用の増加や業務拡大も期待されています。



臨港道路東扇島水江町線の完成イメージ



令和6年1月撮影



令和6年2月撮影



令和7年1月撮影

3 東扇島堀込部土地造成事業

増加する自動車の取り扱い量に対し荷さばき地等を確保するとともに、交通結節用地及び福利厚生施設を確保するため、リニア中央新幹線のトンネル工事中から出た土を使用して、埋立工事を推進しています。



令和6年2月撮影



令和7年1月撮影

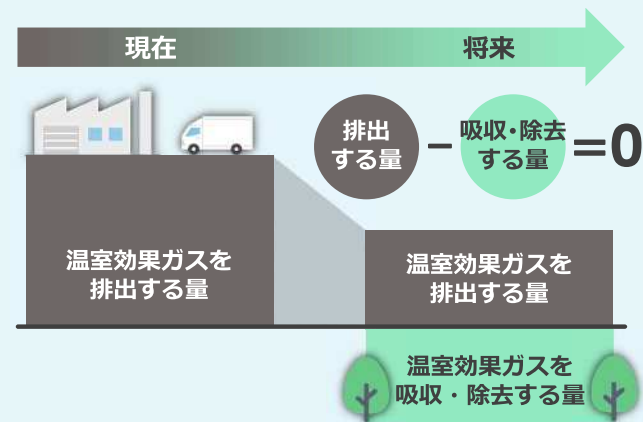
4 カーボンニュートラルに向けた取組

川崎港では、発電施設や工場での製造過程に必要なエネルギーとして、石油やLNGなどの化石燃料を多く利用しており、温室効果ガス削減の対策は大きな課題となっています。

今後は、温室効果ガスの発生を抑えながら生産活動を行うために、海外から水素を輸入して、それを原料に発電したり、廃プラスチックやCO₂から素材や製品を作るなど、炭素（C）資源を廃棄せずに、循環していく仕組みを作ろうとしています。

カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの排出量から「吸収する量」と「除去する量」を差し引いた合計がゼロの状態を「カーボンニュートラル」といいます。

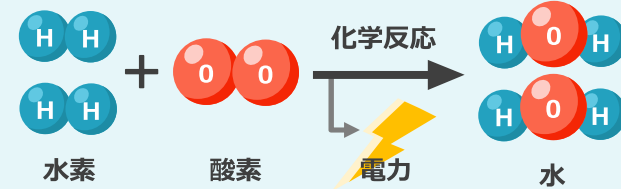


カーボンニュートラル実現に向け、新時代のエネルギーとして注目されているのが「水素」です。

水素とは

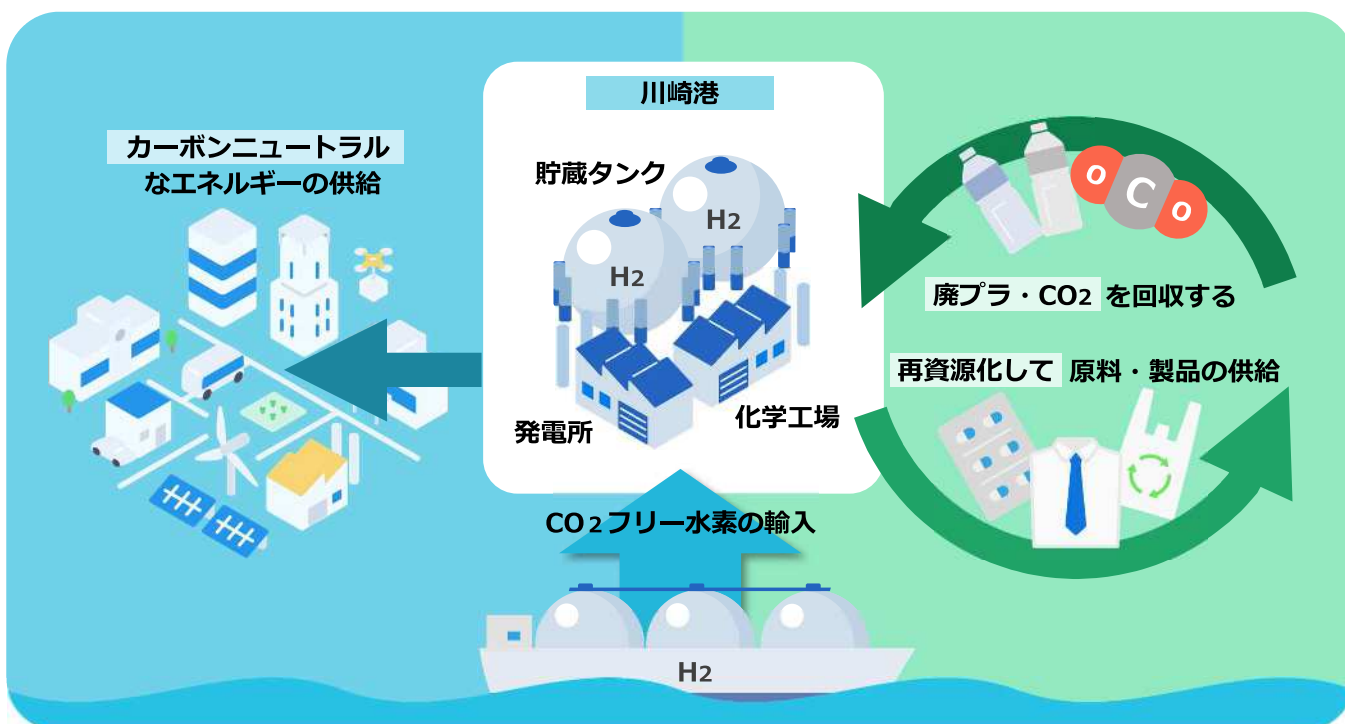
水素は、石油や石炭などの化学燃料とは異なり、燃やしても二酸化炭素を一切排出しません。

水素をエネルギーに変換する方法として、燃料電池で電力を作り出す方法と、水素を燃やし火力発電として使う方法があります。



現在、既存の燃料ガスに水素を混ぜて発電する混焼発電について、実証が進められています。

また、水素のみで発電する専焼発電の技術開発も進められています。



川崎港について詳しく知りたい方へ

川崎港の仕事紹介デジタルコンテンツ

市民の暮らしを支える物流施設である川崎港コンテナターミナルの仕事紹介デジタルコンテンツです。ガントリークレーンなどの超大型の重機や港で働くいろいろな車両の運転、コンテナの品質チェックをする検査や、世界中を航海しているコンテナ船と連絡を取り、コンテナを効率的に動かし物流を支える港ならではの仕事を、映像をとおして紹介します。



川崎港のシゴト

で検索！



URL

<https://portofkawasaki.city.kawasaki.jp/work-at-kawasaki-port/>

川崎港プロモーション動画

川崎港プロモーション動画をYouTube「川崎港戦略港湾推進協議会チャンネル」にて公開しています。



川崎港戦略港湾推進
協議会チャンネル

で検索！



URL

<https://www.youtube.com/channel/UCQDR--xnC9TMkgUkImHwvng>

川崎臨海部副読本

川崎港を含む川崎臨海部は、力強い産業都市かわさきの原動力として日本の発展を支える重要なエリアです。進化を続ける臨海部の今と未来について知り、理解を深めることができるデジタル副読本を公開しています。



川崎臨海部副読本

で検索！



URL

https://kawasaki-rinkaibu.jp/fukudokuhon_school/

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

お問い合わせ

川崎市 港湾局 経営企画課

〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地

TEL /044-200-3070

MAIL/58keiki@city.kawasaki.jp

電子版はこちらから



2025(令和7)年 1月